

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年8月30日作成

活性化計画名	金田北部地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県（代表） 大田原市	090000 092100	1	平成25年度 ～平成29年度	平成25年度
活性化計画の区域				
栃木県大田原市金田北部地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	17.2ha	17.2ha	100%	

(コメント)

事業活用活性化計画の目標値に対して100%達成された。
また、活性化計画の目標である、「当該地の安定化を促進し、農業従事者数減少率を、1.3%に抑える」については、2015農業センサスにより確認したところ、農業従事者数205人と45人減少（計画時250人[2010農林業センサス]）となり、18%の減少率となってしまった。
当該農道を整備したことにより農作業の効率化が図られ、今後地元住民の定住促進に結び付くものと思われる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
土地改良施設保全	農道工 L=1,220.5m W=5.0m			大田原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
大田原市	平成25年度	平成25年度	平成26年3月25日	
事業の効果				
農道を整備したことにより、野菜等の出荷時の荷傷み防止及び搬出時間の短縮等の営農条件が改善されたことで農作業の効率化が図れた。				

3 総合評価

(コメント)

[大田原市]

当該路線が整備されたことにより、野菜等の荷傷み防止や農作業の省力化等の営農条件が改善され、今後は安定した農業経営及び当地域の定住化の促進が期待される。

[栃木県]

本事業により当該路線が整備されたことで高品質農産物出荷量が増加し、輸送体系が確立されたことにより、農業経営の向上が図られた。

4 第三者の意見

(コメント)

当該道路は、利用頻度が高い農道であり、整備されたことで営農条件が改善されたと思われる。

また、当地区の隣接地にねぎ選果施設の建設が予定されているので、好条件を活かし収益性の高いねぎの生産拡大に繋げ、地域農業の発展並びに農業経営者の増加を期待したい。